

Y-3 :非営利団体セッション

開催日時・会場 9月19日（水曜日）13:20-14:50 406(4階)

戦略的な基礎研究推進に向けた大学とFAの 連携協力のあり方について

イノベーション力強化に向けて各国の競争が過熱する中、我が国においては、その限られる財源をイノベーションの源泉である基礎研究へ戦略的に投資するために、トップダウン型の様々なファンディング・プログラムが運営されています。これらの研究プログラムから期待された研究成果を創出するにあたって、優れた研究アイデアの取込み、チーム編成の最適化、先端研究機器等の効率的な共同利用など、プロジェクト立案段階での研究機関におけるコーディネーション機能の重要性が近年益々高まっています。その一方で、基礎研究フェーズの研究開発プログラムでは成果の不確実性故に、それを運営するFAと研究機関との間で、戦略的なプロジェクト立案にかかるコミュニケーションは必ずしも十分ではありませんでした。今後も、我が国において優れた研究プロジェクトを継続的に創出し研究成果を確実に得ていくためには、例えば、研究アイデア、人材、資金、研究ファシリテ等の研究資源のベストミックスについてFAとURAとが協働で議論する「場」の構築が改めて重要になると考えられます。

本セッションでは、基礎研究を戦略的に推進しようとする研究機関のURAとJSTの戦略的創造研究推進事業の担当者との間で、戦略的な基礎研究プログラムについて認識を共有した上で、より高い成果を創出するための制度設計やコーディネーションの在り方を考えます。また、こうしたコミュニケーションをいかに継続し、議論の成果を実践するかなど、今後に向けたアジェンダセッティングも行います。

なお、本セッションではグループディスカッションを予定しており、グループ割等のため事前参加登録制(定員有)といたします。参加希望の方は、氏名、所属先、役職、電話番号をこちらのメールアドレス(jst-nws-4thran@jst.go.jp)宛にお送りください。参加登録完了後、担当者より改めてご連絡いたします。定員を超過した場合は、ご希望に添えない場合もございますので予めご了承ください。

オーガナイザー



中神 雄一 : 科学技術振興機構・戦略研究推進部・副調査役

2006年JST入構。研究開発戦略センター(CRDS)、経営企画部にて企画運営・総括業務を担当後、理数学習支援部にて第1回科学の甲子園を立ち上げ。その後、産学連携展開部にて新規事業の企画立案、A-STEP制度改革の検討等に参画。2017年4月より戦略研究推進部にてCREST領域担当。この間、外務省国際科学協力室にて二国間科学技術協力を担当、米ジョージ・ワシントン大学にて国際科学技術政策コース修了。

司会者



白井 哲哉:京都大学・学術研究支援室・URA

2006年岡山大学院自然科学研究科修了 理学博士。2006年京都大学生命科学研究科 特任助手、京都大学人文科学研究所 特定助教を経て、2012年より京都大学学術研究支援室URA。2017年よりプロボストオフィス兼担。研究者時代の専門は、生命科学・生命倫理・科学コミュニケーション・科学技術社会論(STS)・科学技術ガバナンス。学際研究の経験とSTSの知見を活かして、研究現場の環境を改善したい。